



# 学校だより 7月

四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

## どんな子に育てほしい?

学校長 貴志 年秀

毎日うっとうしいお天気が続きます。

学校での子どもたちも、休憩時間に外で遊ぶ少々欲求不満気味ですが、この時期の雨は、木々や野菜を大きく成長させるために必要不可欠なもの。

暑い夏がやってくるまであと少しがまんすることにしましょう。



さて、今回は「子育て」のお話です。

保護者のみなさんは、子どもたちを「どんな子」に育てたいとお考えですか？また、「どんな子に育てほしい」とお思いでしょうか？

以下にいくつかの問題を出しますので、各場面で、A、Bを選んでください。

**場面1** 早朝で道路には車が全く走っていません。横断歩道の信号は赤です。

- A ルールどおり青信号になるまでじっと待つ子
- B 左右の安全を確かめて勝手に渡ってしまう子

**場面2** きれいな虹がでています。

- A 虹のできる仕組みを科学的に説明できる子
- B ほかんと口を開けてその美しさに見とれる子

**場面3** あなたは会社の人事部長です。どちらの子を採用しますか。

- A 試験の結果はよいが、人付き合いが苦手な子
- B 性格はとてもよいが、試験の結果は今一な子

日本の教育界では、戦後、先進国に追いつけとばかりに、過激な「つめこみ教育」「偏差値教育」が行われてきました。その結果、日本の子どもたちの“学力”は世界一になりました。知識の断片をたくさん覚えている子や機械のように早く計算できる子が、優秀な大学に入学して、一流会社に就職し豊かな人生を送った時代です。おかげで、日本は経済大国に成長しました。

しかし課題も残りました。多くの知識は持っていますが、それらを組み合わせる新しいものを創造する力が著しく劣っていたのです。また、新しいこと学ぼうとする意欲も少なく、人間関係もうまく維持できないような若者が増えてきました。

「知識だけが学力なのか?」「生涯にわたって生きて働く力こそが真の学力だ!」とされ、『ゆとり教育』や『総合的な学習』が提唱されました。

そして、今また、子どもの基礎学力低下が指摘され、一昔前の教育に戻ろうとしています。

教育の方向は、時代のニーズによって大きく左右されます。果たして時代を超えて、真に人間として備えたい資質とは何なのでしょう?

答えを見つけるために、親として自分の子には、どんな力を備えて欲しいのかを考えてみましょう。

さて、最初の設問に対して、私は親として自分の子には、すべてBであって欲しいと思っています。状況判断し自己決定できる子、美しいものに感動出来る子、勉強はそんなにできなくても性格がよければ、簡単な仕事なら覚えられるはずだからです。

ただ二者択一で人間の価値は決められないのも事実です。「思いやりのある子に」と願っても、相手の立場や状況を推し量る利発さも必要です。「よく考えて行動せよ」と言っても、考えるためにはそれなりの判断基準や考え方を会得しなければなりません。そのためには最低限の知識・技能はやはり必要なのです。

言い尽くされた言葉ですが、親として、子どもたちの持つ“知”“徳”“体”をバランスよく伸ばすことが大切であり、そのためには、子どもの頃には、できるだけ広く浅く様々なことを学び体験させたいと考えています。



日曜	学校行事予定
2月	あいさつ運動 登校指導(1,3,5) カウンセラー内藤先生来校
3火	育生会見守り隊(文化部)
4水	5限委員会5,6年生
5木	移動図書館15:20~16:20
7土	七夕
12木	大掃除
13金	給食服持って帰る 外部評価委員会
16月	海の日
17火	安全点検 6限地区子ども会 集団下校
19木	給食終了 移動図書館15:20~16:20
20金	終業式
21土	北まつり
23月	個人懇談① ラジオ体操(27日まで)
24火	個人懇談②
25水	個人懇談(一部の学級のみ)



## ○あいさつは?

いつも見守り隊の方々には大変お世話になっています。挨拶は元気にできていますか?挨拶など教えていただいたことには素直に答えられていますか?

「元気な挨拶を返しましょう」と、話していますが、ご家庭でも機会を捉えてご指導をお願いします。

○昨年通り、夏休みの2日間をかけて個人懇談会を行います。時間に限りがございますので、事前に話をまとめるなど、時間短縮にご協力をお願いします。

○夏休みのラジオ体操は、7月23日~27日、8月27~31日午前6時30分からです。体操に参加して、元気な1日のリズムを作り出しましょう。そして、涼しいうちに学習をすませるようにしましょう。

## ★流れ星に願いを

7月の下旬から8月上旬にかけ水瓶(みずがめ)座を中心に、8月上旬から8月下旬にかけてはペルセウス座を中心に流れ星がたくさん流れます。たくさんの流れ星が同じ場所から流れることを「流星群」と言います。流れ星の正体は小さな、1ミリくらいの石の粒です。小さな粒は宇宙を何万年、何億年も旅してきました。偶然、地球の大気に飛び込んで来たときに明るく輝きます。そのほとんどが1秒も光ることができません。しかし、一年のうちでも流れ星の多いのがこの夏の7月から8月にかけての季節です。電気を消して、一度家族で外に出て、夜空をながめて見ませんか。流れ星に願い事をかけられるかもしれません。